



梅島小だより

『切り替え0秒』から学ぶ

副校長 鯉沼 哲

間もなく立春を迎えますが、まだまだ寒い日が続いております。先週降った雪もようやく解け、休み時間には子どもたちが元気に遊ぶ姿が戻ってきました。ただ、インフルエンザや風邪で休む児童も増えてきたのが心配です。学校では、病気の感染予防のため、外から室内に戻るときは、手洗い・うがいを忘れずに行うことや、マスクを着用することなど、引き続き指導しております。

さて、1月18日（木）にトップアスリートを招いてのスポーツ体験教室を実施しました。今回は、日本のフットサルの最高峰Fリーグに所属するチーム『フウガドールすみだ』の主力選手（日本代表等）を招いて、本校の4年生がフットサルの体験を通してスポーツの楽しさを味わうことができました。初めに講師の先生である選手たちのスーパープレイ（リフティングやシュートの技）を見せていただき大いに盛り上がりました。体験教室が始まると男子も女子も真剣にボールに向かい、楽しくフットサルを体験することができました。そして、講師の先生たちから「仲間を信じること」「チームを意識すること」そして、『切り替え0秒』のプレーをたくさん学ぶことができました。

この『切り替え0秒』という言葉は、「フウガドールすみだ」のチームの柱になっているものだという事は後で知りました。これは、校長も全校朝会で子どもたちに話をしましたが、フットサルというスポーツは、攻守のプレーが目まぐるしく入れかわり、攻撃だけ守りだけのプレーでは決して勝てないスポーツです。チーム全員が攻守の切り替えをいつも意識して、切り替えを0秒でプレーをすることが勝利につながるということだそうです。この『チーム全員が意識する』ということが一番大切で、いくら個人技が優れている選手が何人もいても、攻守の切り替えを意識しない選手が一人でもいれば、チームプレーに穴が開き、そこから崩れてしまうことがあるスポーツなのだということもわかりました。

これは、学校での生活にもつながることで、休み時間が終わったらすぐに遊びをやめて教室に戻り次の授業の準備をする。グループで話し合う時間が終了したら、すぐに話し合うのをやめ発表の準備をする。作業をしていて、先生の話が始まったらすぐに作業をやめ先生の話聞く。など、一人一人が様々な場面で『切り替え0秒』を意識することによって今の生活にゆとりができ、友達のよさやクラスのよさに気付くことができるようになるはずです。『切り替え0秒』を意識すれば、「梅島小学校」というチームが、今以上に素晴らしいチームになることは間違いないと思っています。